

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）は18日、同社の軟式野球部の運営による少年野球大会「ダイワコーポレーション主催ベイサイドカップ2021」の決勝戦を、大会初となる横浜スタジアムで行った。

同大会は2015年から続いている学童野球大会で、第7回となる今年からダイワコーポレーション主催の大会となった。東京・神奈川の少年野球チーム66チームが参加。決勝の舞台として、プロ野球の本拠地で子どもたちの憧れでもある横浜スタジアムを用意した。

決勝戦に参加したのは、横浜市の元宮

ファイターズと東京都の町田玉川学園少年野球クラブAの小学6年生。試合スタート時には、側転を決めてグラウンドに登場する選手もおり、プロ野球さながらのパフォーマンスもあった。

スタンドにはチームメイトや保護者が応援に駆け付け、数々のファインプレーに歓声が沸いた。試合は先攻の町田玉川Aが4回に4点を上げるなどリードし、6対1で強豪元宮ファイターズに勝利した。

表彰式では曾根社長からトロフィーや賞状、記念品が渡され、選手個人への表彰も行われた。ダイワコーポレーション軟式野球部の堂上洋行監督は、「両チームとも素晴らしい試合を見せてくれた。ぜひこのような大会を来年も開催したい」とあいさつした。



優勝した町田玉川学園少年野球クラブA



表彰式で賞状を手渡す曾根社長（右）

なお、ダイワコーポレーション軟式野球部は野球を通じた社会貢献活動を積極的に行っており、決勝戦当日、ボールボーイやバットボーイ、写真撮影、表彰式などの大会運営は、全て野球部が担当した。